

平成23年度化学物質管理目標等報告の概要

県では、人の健康や動植物の生息、生育に影響を及ぼすおそれのある 462 種類の化学物質について、環境への排出量を削減するため、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」（以下「条例」といいます。）第 42 条に基づき、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下「化管法」といいます。）の届出対象事業者に対して化学物質の管理目標の設定とその達成状況等の報告を求めています。

このたび、平成23年度に事業者から報告があった管理目標の設定と目標の達成状況等について取りまとめましたので、お知らせします。

1 報告状況

平成23年度、条例第42条に基づき、県域^{※1}全体で 741事業所（前年度724事業所）から、化学物質の取扱量^{※2}及び管理目標、その達成状況について報告がありました（図1）。

※1 条例の適用外である横浜市、川崎市及び条例の権限を移譲している相模原市を除いた地域をいいます（PRTR届出者数：718 事業所）。

※2 取扱量とは使用量と製造量の和をいいます。

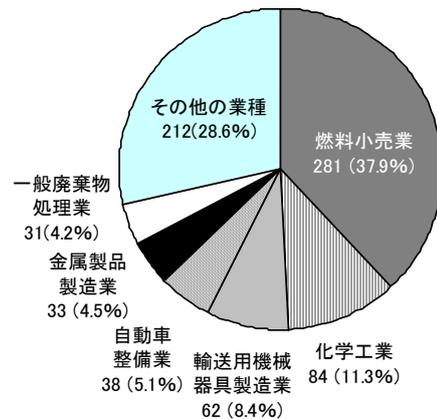


図1 業種別報告事業所数

2 化学物質の取扱い状況

条例に基づく化学物質の取扱量等の報告、化管法に基づく環境への排出量、下水道等への移動量の届出を、条例に基づく報告事業所（化管法の届出対象外の事業所を除く。）について集計したところ、平成23年度の県域における化学物質の取扱量336,215トンのうち、製品などとして323,982トン（96.4%）が使用され、環境への排出量は3,729トン（1.1%）でした（図2）。

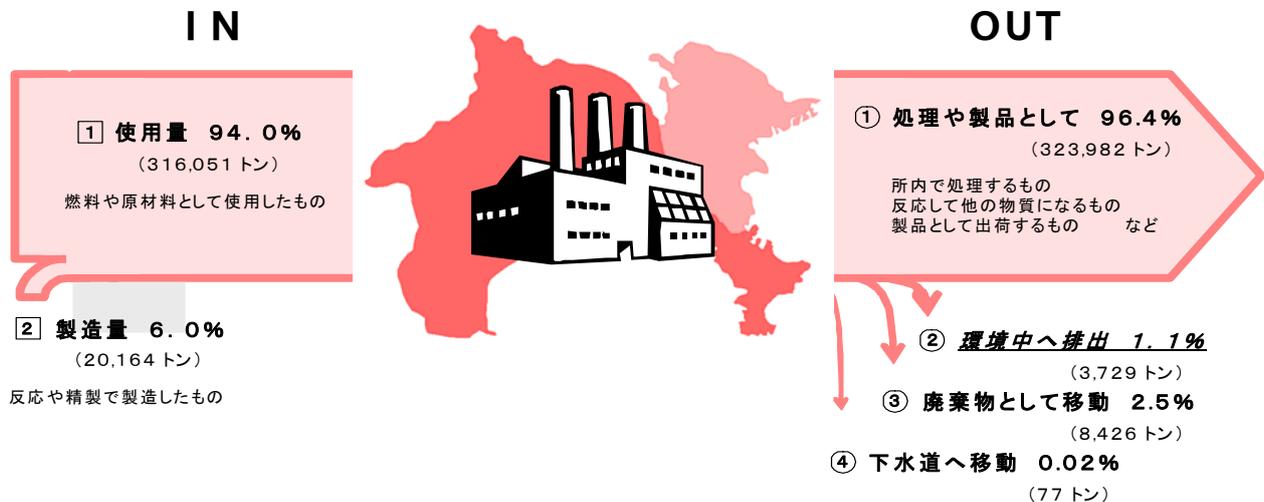


図2 県域における化学物質の取扱い状況

3 平成23年度の化学物質管理目標

(1) 排出量

平成 23 年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成 22 年度の排出量から 20 トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成 23 年度の排出量は 3,709 トンとなり、平成 22 年度と比較して 0.55%削減されることとなります（図 3）。

※3 削減実績は化管法届出排出量を条例 42 条の報告を行った事業所について集計した値を用いています（以下同じ。）。

※4 化管法施行令の改正により、平成 22 年度実績より、県条例第 42 条の届出対象物質が 354 物質から 462 物質に増加し、対象業種に医療業が追加されています。そのため、今年度は前年度目標との比較や経年変化の検証は行わず、来年度以降に、新たな対象物質及び対象業種による比較及び検証を行います（以下同じ。）。

(2) 使用量

平成 23 年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成 22 年度の使用量から 393 トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成 23 年度の使用量は 315,658 トンとなり、平成 22 年度と比較して 0.12%削減されることとなります（図 4）。

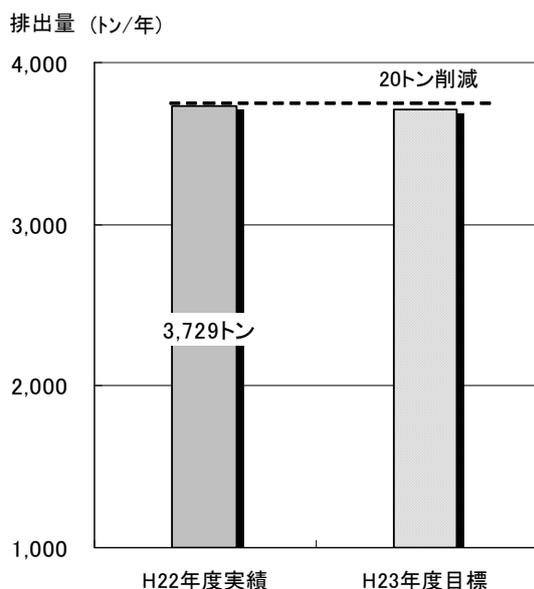


図 3 排出量の削減目標と実績

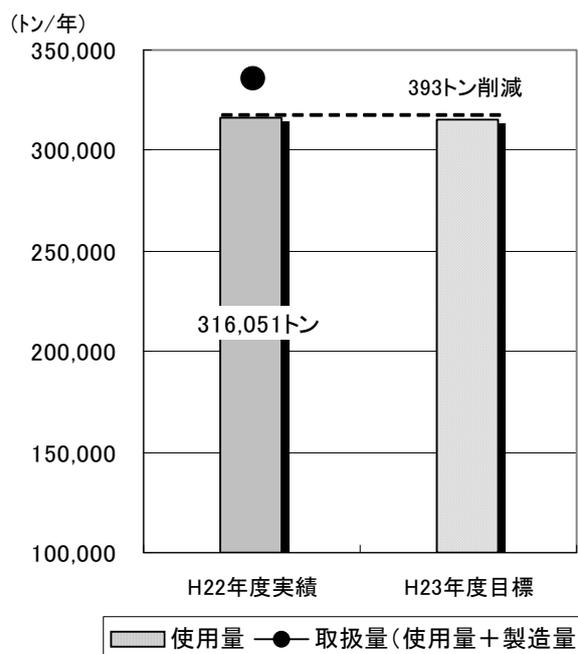


図 4 使用量の削減目標と実績

(3) 業種別の管理目標について

ア 排出量

平成 23 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい化学工業（9 トン削減）、輸送用機械器具製造業（5 トン削減）及び非鉄金属製造業（2 トン削減）の 3 業種で削減目標全体の 80%を占めています。

イ 使用量

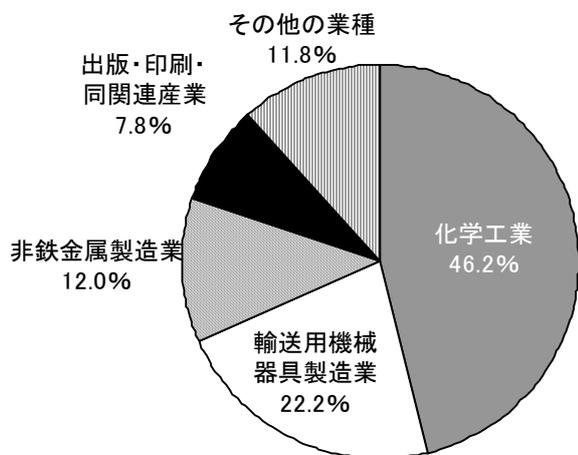
平成23年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい化学工業（288トン削減）、ゴム製品製造業（63トン削減）及び輸送用機械器具製造業（14トン削減）の 3 業種で削減目標全体の93%を占めています。

平成23年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

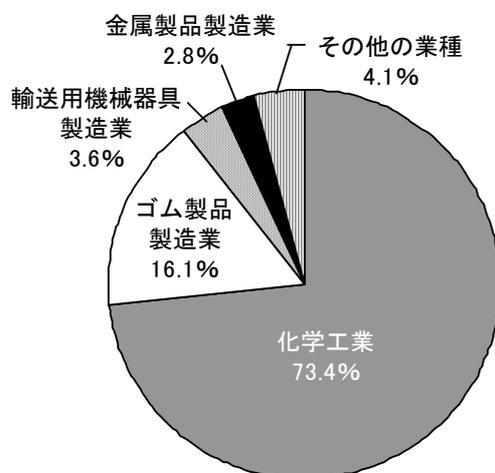
業種名	H23削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H22排出量(実績)	H23排出量(目標)
① 化学工業	9トン/年	347トン/年	338トン/年
② 輸送用機械器具製造業	5トン/年	1,871トン/年	1866トン/年
③ 非鉄金属製造業	2トン/年	92トン/年	90トン/年
④ 出版・印刷・同関連産業	2トン/年	67トン/年	65トン/年
● その他の業種	2トン/年	1,352トン/年	1350トン/年
● 全業種計	20トン/年	3,729トン/年	3,709トン/年

平成23年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

業種名	H23削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H22使用量(実績)	H23使用量(目標)
① 化学工業	288トン/年	77,824トン/年	77,536トン/年
② ゴム製品製造業	63トン/年	2,781トン/年	2,718トン/年
③ 輸送用機械器具製造業	14トン/年	17,167トン/年	17,153トン/年
④ 金属製品製造業	11トン/年	7,872トン/年	7,861トン/年
● その他の業種	17トン/年	210,407トン/年	210,390トン/年
● 全業種計	393トン/年	316,051トン/年	315,658トン/年



業種別排出量削減目標の割合
(平成23年度)



業種別使用量削減目標の割合
(平成23年度)

(4) 物質別の管理目標について

ア 排出量

平成 23 年度の目標の設定状況については、合成原料、溶剤及び塗料として使用されるトルエン（11 トン削減）、洗浄剤や溶剤として使用されるトリクロロエチレン（2 トン削減）及び合成原料、溶剤及び塗料として使用されるキシレン（2 トン削減）の3物質で削減目標全体の 75%を占めています。

イ 使用量

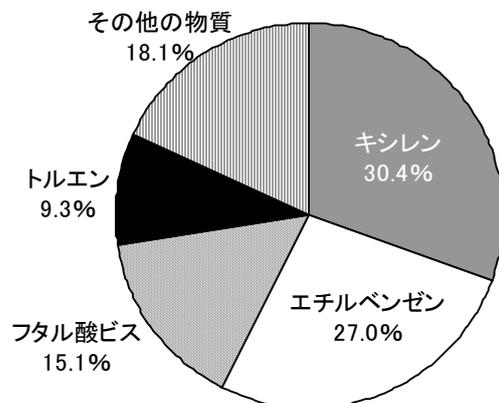
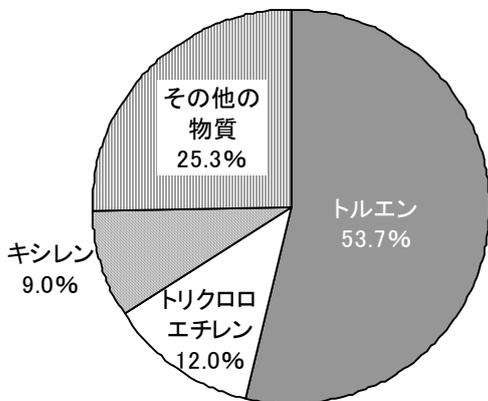
平成 23 年度の目標の設定状況については、キシレン（119 トン削減）、合成原料及び塗料として使用されるエチルベンゼン（106 トン削減）及び可塑剤として使用されるフタル酸ビス（59 トン削減）といった削減目標の大きい3物質で削減目標全体の 57%を占めています。

平成23年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

物質名	H23削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H22排出量(実績)	H23排出量(目標)
① トルエン	11トン/年	1,650トン/年	1,639トン/年
② トリクロロエチレン	2トン/年	24トン/年	22トン/年
③ キシレン	2トン/年	978トン/年	976トン/年
● その他の物質	5トン/年	1,077トン/年	1,072トン/年
● 全物質計	20トン/年	3,729トン/年	3,709トン/年

平成23年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

物質名	H23削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H22使用量(実績)	H23使用量(目標)
① キシレン	119トン/年	38,920トン/年	38,801トン/年
② エチルベンゼン	106トン/年	11,549トン/年	11,443トン/年
③ フタル酸ビス	59トン/年	2,501トン/年	2,442トン/年
④ トルエン	37トン/年	74,341トン/年	74,304トン/年
● その他の物質	72トン/年	188,740トン/年	188,668トン/年
● 全物質計	393トン/年	316,051トン/年	315,658トン/年



物質別排出量削減目標の割合
(平成 23 年度)

物質別使用量削減目標の割合
(平成 23 年度)

(5) 用途別の管理目標について

ア 排出量

平成 23 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい「溶剤、塗料など」（14 トン削減）及び「洗浄、界面活性剤など」（3 トン削減）の 2 用途で削減目標全体の 85%を占めています。

イ 使用量

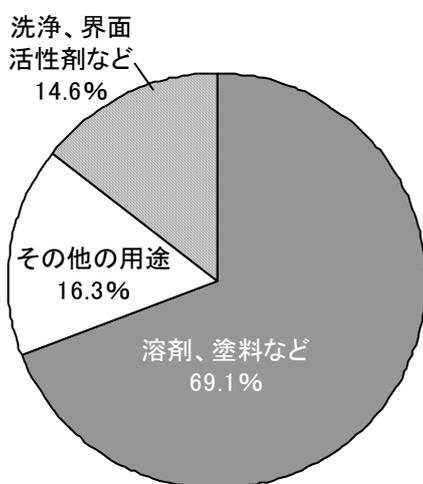
平成 23 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい「溶剤、塗料など」（261 トン削減）、「高分子、ゴム、プラスチックなど」（76 トン削減）及び「メッキ、表面処理など」（7 トン削減）の 3 用途で削減目標全体の 88%を占めています。

平成23年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

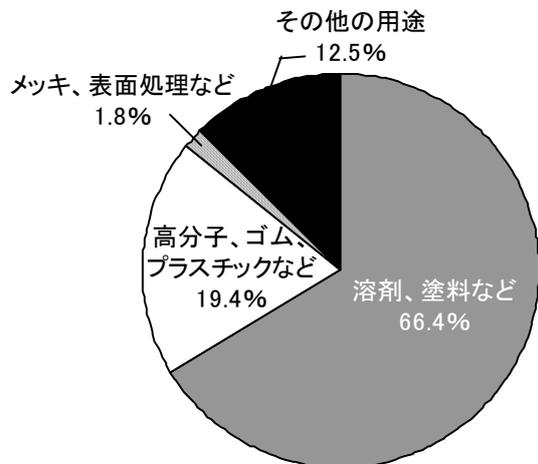
用途名	H23削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H22排出量(実績)	H23排出量(目標)
① 溶剤、塗料など	14トン/年	2,900トン/年	2,886トン/年
② 洗浄、界面活性剤など	3トン/年	213トン/年	210トン/年
● その他の用途	3トン/年	616トン/年	613トン/年
● 全用途計	20トン/年	3,729トン/年	3,709トン/年

平成23年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

用途名	H23削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H22使用量(実績)	H23使用量(目標)
① 溶剤・塗料など	261トン/年	34,227トン/年	33,966トン/年
② 高分子、ゴム、プラスチックなど	76トン/年	77,505トン/年	77,429トン/年
③ メッキ、表面処理など	7トン/年	2,686トン/年	2,679トン/年
● その他の用途	49トン/年	201,633トン/年	201,584トン/年
● 全用途計	393トン/年	316,051トン/年	315,658トン/年



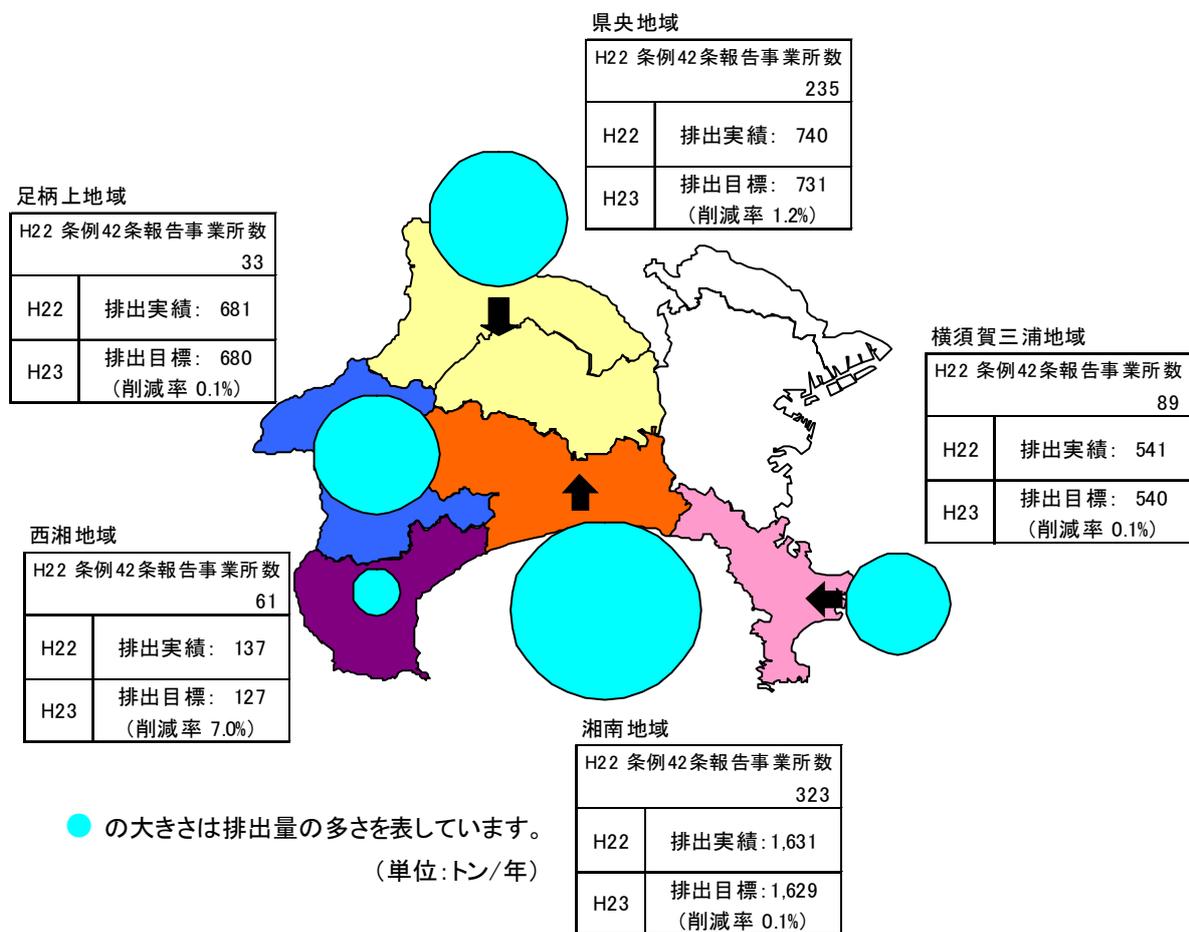
用途別排出量削減目標の割合
(平成 23 年度)



用途別使用量削減目標の割合
(平成 23 年度)

4 地域別の排出状況

地域県政総合センター所管地域別の平成22年度の排出実績及び平成23年度の排出目標などは次のとおりです。1事業所あたりの排出量が最も多い地域は足柄上地域、次に横須賀三浦地域でした。



※ 図中の削減率とは、平成22年度排出実績に対して、どれだけ削減するかを割合で示したものです。また、削減率は、各地域毎の事業所から報告のあった平成23年度削減目標の集計値を、平成22年度排出実績で割った値について、少数第2位を四捨五入したものです。